

② 特別会計

市には、左の表のとおり7つの特別会計があり、予算の範囲内でそれぞれの事業をやりくりしています。

老人保健特別会計は平成20年度に後期高齢者医療特別会計に改正されましたが、会計処理が残るため継続しています。

特別会計の決算

種別	歳入	歳出	差引
国民健康保険特別会計 国民健康保険事業を運営するための会計	80億9,587万円	77億7,517万円	3億2,070万円
土地取得事業特別会計 公共施設用地をあらかじめ取得するための会計	4,350万円	4,311万円	39万円
公設地方卸売市場事業特別会計 公設地方卸売市場を運営するための会計	3,842万円	3,826万円	16万円
老人保健特別会計 75歳以上の方などの医療保険制度のための会計	3,563万円	3,266万円	297万円
霊園事業特別会計 霊園の用地取得や管理運営のための会計	5,305万円	5,298万円	7万円
介護保険特別会計 介護保険事業を運営するための会計	29億6,587万円	29億5,248万円	1,339万円
後期高齢者医療特別会計 75歳以上の方などの医療保険制度のための会計	6億5,307万円	6億5,208万円	99万円
合計	118億8,541万円	115億4,674万円	3億3,867万円

③ 公営企業会計

市には、水道事業、下水道事業、病院事業の3つの公営企業会計があります。決算の状況はつぎのとおりです。

病院事業

【業務の状況】

市民病院

入院 50,694人(138.9人/日)

前年度に比べて5,724人、1日平均15.7人減少しました。

外来 167,492人(692.1人/日)

前年度に比べて5,766人、1日平均18.0人減少しました。

泉郷診療所

外来 3,143人(22.3人/日)

前年度に比べて282人、1日平均1.5人減少しました。

支笏湖診療所

外来 823人(3.5人/日)

前年度に比べて172人、1日平均0.6人減少しました。

【決算の状況】

収益的収支の決算

収入 48億6,424万円

支出 50億2,896万円

資本的収支の決算

収入 2億2,812万円

支出 6億1,202万円

内部留保資金残高
10億7,330万円

下水道事業

【業務の状況】

排水戸数 37,965戸

市が下水道の処理をしている建築物の戸数。前年度に比べて984戸増加しています。

総処理水量 18,717,301 m³

市が下水道で処理した汚水の総水量。前年度に比べて約2.6%増加しました。

有収水量 13,704,254 m³

総処理水量のうち、料金収入が得られる水量。前年度に比べて約1.2%減少しました。

有収率 73.22%

下水道の総処理水量のうち有収水量の割合で高いほど良好な指標。前年度に比べて約2.8%減少しました。

【決算の状況】

収益的収支の決算

収入 24億9,870万円

支出 23億8,657万円

資本的収支の決算

収入 16億9,184万円

支出 27億7,991万円

内部留保資金残高
11億1,158万円

水道事業

【業務の状況】

給水人口 92,662人

市が水道で飲料水を供給している人の数。前年度に比べて519人増加しています。

総配水量 11,907,359 m³

飲料水として浄水場から送り出された総水量。前年度とほぼ同じ量でした。

有収水量 11,147,298 m³

総配水量のうち、料金収入が得られる水量。前年度とほぼ同じ量でした。

有収率 93.62%

水道の総配水量のうち有収水量の割合で高いほど良好な指標。前年度とほぼ同じ率でした。

【決算の状況】

収益的収支の決算

収入 16億8,854万円

支出 16億2,266万円

資本的収支の決算

収入 5億17万円

支出 12億8,727万円

内部留保資金残高
11億2,404万円

収益的収支

1年間の事業活動で得られる収益と費用を損益計算の形で表すもの。会社の経営成績

資本的収支

1年間に支出した施設の建設経費（施設建設のための借金の返済などを含む）とその財源となる収入

※内部留保資金は、過去からの利益(黒字)などの蓄積によって生まれた資金で、事業運営に必要な運転資金になります。